【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成25年12月19日(2013.12.19)

【公表番号】特表2013-510650(P2013-510650A)
【公表日】平成25年3月28日(2013.3.28)
【年通号数】公開・登録公報2013-015
【出願番号】特願2012-538841(P2012-538841)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｃ　13/107　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｃ　13/107

【手続補正書】
【提出日】平成25年10月28日(2013.10.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
以下を含む骨伸延デバイス：
骨の不十分な領域で新しい骨を育てるためのプレート構成要素；および
該プレート構成要素と作動可能に接続し、制御可能にプレート構成要素を後退させるためのエキスパンション構成要素、および
該エキスパンション構成要素を制御して移動させる伸延ツール。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３９】
新規であり、保護が請求される発明は特許請求の範囲に記載される。
本発明は以下の実施態様を含む。
第１項：　以下を含む骨伸延デバイス：
骨の不十分な領域で新しい骨を育てるためのプレート構成要素；および
該プレート構成要素と作動可能に接続し、制御可能にプレート構成要素を後退させるためのエキスパンション構成要素、および
該エキスパンション構成要素を制御して移動させる伸延ツール。
第２項：　該伸延ツールがハンドル、ローテイター、少なくとも２つのマイタ歯車、六角ソケット、および歯止め装置を含む、請求項１項記載の骨伸延デバイス。
第３項：　該ハンドルは、長方形であり、丸い端部を有する、第２項記載の骨伸延デバイス。
第４項：　該伸延ツールが、ポリプロピレン材料を含む、第１項記載の骨伸延デバイス。
第５項：　該歯止め装置が、可聴表示を含む、第２項記載の骨伸延デバイス。
第６項：　該歯止め装置が、可視表示を含む、第２項記載の骨伸延デバイス。
第７項：　該伸延ツールが該エキスパンション構成要素を回転させ、エキスパンション構成要素を正確な距離だけ後退させることを許容する、第１項記載の骨伸延デバイス。
第８項：　該正確な距離が１ミリメートルである、第７項記載の骨伸延デバイス。

第９項：　さらに六角形のキーを含み、該エキスパンション構成要素を後退させるために、該骨伸延ツールが該六角形のキーとともに使用される、第１項記載の骨伸延デバイス。
第１０項：　ハンドル、ローテイター、少なくとも２つのマイタ歯車、六角ソケット、および歯止め装置を含む骨伸延ツールを含む、骨成長のための骨伸延装置。
第１１項：　該ハンドルは、長方形であり、丸い端部を有する、第１０項記載の骨伸延装置。
第１２項：　該骨伸延ツールが、ポリプロピレン材料を含む、第１０項記載の骨伸延装置。
第１３項：　該歯止め装置が、可聴表示を含む、第１０項記載の骨伸延装置。
第１４項：　該歯止め装置が、可視表示を含む、第１０項記載の骨伸延装置。
第１５項：　該骨伸延ツールが該エキスパンション構成要素を回転させ、エキスパンション構成要素を正確な距離だけ後退させることを許容する、第１０項記載の骨伸延装置。